

久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（暫定版）に対する
関係団体からのご意見について

参考資料④

※ 6月～7月にかけて、計13団体との意見交換を実施。

(1) 安定した雇用を創出する

団体名	意見の概要	意見交換日
西日本シティ銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大のための商談会や海外輸出支援などへの取り組みに力を入れている。 ・創業支援相談窓口で専門家を派遣することが可能。 ・農業の6次産業化を支援するファンドを設立しており、農業応援資金による支援も行っている。 	7月6日
筑後信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士協会と連携し、空き店舗改装の補助制度活用支援を行っている。 ・信金中央金庫を中心とした全国的なネットワークを活かして情報提供を行いたい。 	7月6日
筑邦銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・市の支援制度と金融機関の支援をまとめて、金融機関が窓口となって展開すれば、利用が増えるのではないかと。 ・事業継承などについて、単独ではなく、地域の金融機関が情報を持ち寄り連携して取り組むことが必要ではないかと。 ・市の雇用に関する取組みを取引先に積極的にPRし、雇用確保につなげたい。 	7月6日
福岡銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物やものづくりなどの久留米ブランドに特化した海外商談会を、各金融機関が共同で開催できる可能性がある。 ・外国人労働者に関して、金融機関の海外ネットワークを活かして連携し、行政と協力して取り組む必要があるのではないかと。 	7月6日

(2) 久留米市への新しい人の流れをつくる

団体名	意見の概要	意見交換日
もーりえ	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスのよさは久留米の売りである。久留米を拠点として、九州のあらゆる所に行ける「九州のハブ都市」として売って出たはどうか。 ・子育てママにとっては、「～まで自転車で何分」など、生活者視点での情報があると嬉しい。 ・久留米には公園がたくさんあるが情報が少ない。場所情報のほかトイレ、オムツ替えスペース、遊具の種類などの情報が一覧できるとよい。 	6月30日
特定非営利活動法人久留米ブランド研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは様々なので、何を魅力と感じてもらい、移住につながるのかわからない。久留米は魅力がたくさんあるまちなので、とにかく何でも取り揃えて情報提供することも大事ではないかと。 ・情報発信は、わかりやすく伝えることが大事。東京の人に「自然が豊か」といってもわかりにくい。「生活費用がこれだけ安い」と言ったほうが断然伝わる。 	6月5日
久留米移住計画	<ul style="list-style-type: none"> ・久留米は「イベントが多い」のも売りの一つである。移住希望者を参加型イベントに呼ぶ仕掛けも面白いのではないかと。 ・久留米への移住者にフォーカスして、移住のきっかけや現在の生活状況等について発信するとよいのでは。 ・団体としては、今後、仕事付きで居住体験させ、地元とのつながりをつくるトライアルステイをやってみたいと思っている。 	6月17日

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

団体名	意見の概要	意見交換日
特定非営利活動法人子育て支援ボランティアくるるん	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いの場は、<u>参加者がボランティア等の体験を通して、結婚観をイメージできるような形が望ましい。</u> ・子育て支援団体と協働して、企業内でセミナーなどを開催することで、育児休業が取得しやすい機運の醸成につながるのではないか。 	6月18日
パパラフネットくろめ（お父さん達のサークル）	<ul style="list-style-type: none"> ・就業環境の改善には、<u>企業トップの意識改革が必要。</u> ・育児休業の取得を促すには、<u>企業へのメリットの付与が必要。</u> ・結婚支援として、男性や女性に偏った職場も多いので、<u>企業間の交流の場があれば良い</u>と思う。 	6月28日
メリコア（女性や母親の挑戦を応援するサークル）	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚に結びつけさせるような<u>世話焼きの人がいると良い。</u> ・女性が多い職場であるが、未婚の方も多し。<u>出会いの場の提供をお願いしたい。</u> ・晩婚化や未婚化対策については、<u>子育ては楽しいことであるという雰囲気伝える啓発が必要。</u> 	6月26日
久留米市学童保育所連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを募って、<u>婚活色を出さずに出会いの機会を作ると良い</u>のではないか。 ・<u>会社同士をマッチングさせるような取組。</u>（結婚支援） ・結婚することのよさ、子育ての楽しさなどの意識を高める取組が必要。 	6月24日

(4) 安心な暮らしを守る

団体名	意見の概要	意見交換日
建築士会	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションは確認申請が不要だが、建築士が関わることで、デザイナーズという付加価値は付く。 ・久留米の住みやすさ、交通アクセスの良さを売りにした定住促進を図るべき。 ・移住促進には、まず<u>地元住民が住みやすいまちづくり、街並みがきれいなイメージの形成等が重要。</u> 	6月25日
宅建協会	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の調査地や、都市公園緑地、都市計画道路などの<u>都市計画法上の規制が、不必要にかかっているところは、早く規制をはずして欲しい。</u> （規制がはずれば、宅地開発等の需要は高い） ・駅周辺の人気は高いので、駅周辺だけでも調整区域をはずして、開発が進むようにして欲しい。 	6月22日